

SSKA

東 腎 協

2009年 6 月 21日

No.177

NPO東腎協第4回総会議案集

講演「ドライウエイトの設定と血圧の管理」

～快適な透析生活を続けるために～

講師：河北葦クリニック透析センター長
東京医科歯科大学臨床教授

篠田 俊雄 先生

第21回 腎臓病を考える都民の集い

主 催 NPO法人東京腎臓病協議会
共 催 東京都



特定非営利活動法人 東京腎臓病協議会

事務局・☎170-0005 豊島区南大塚2-40-11 富士大塚ビル2F

郵便振替口座 00150-0-128390 ☎03-3944-4048 FAX03-5940-9556

E-mail info@toujin.jp ホームページ [http://www.normanet.ne.jp/~toujin/](http://www.normanet.ne.jp/~touzin/)

NPO法人東京腎臓病協議会第4回総会のご案内

NPO東腎協定款第24条により、第4回総会を左記のとおり総評会館において開催します。
 会員・家族のみならず、ぜひお誘いあわせのうえご参加下さい。

記

日時 2009年6月21日(日) 午前10時00分開場

次第 NPO法人東腎協第4回総会(午前10時30分から午後1時)

講演 「ドライウエイトの設定と血圧の管理」(快適な透析生活を

続けるために)(午後2時～午後3時)

講師 河北葦クリニク透析センター長 東京医科大学臨床

教授 篠田 俊雄 先生

会場 (財)総評会館 TEL 03(3253)1771 (代)

患者会正会員(旧幹事)さんには、ポスターを同封した返信
 ハガキで参加人数をお知らせください。個人会員の方は、直
 接事務局までご連絡下さい。

※参加者はこの議案集を必ずご持参下さい。

交通 ●東京メトロ千代田線・新御茶ノ水駅 B3出口(徒歩0分)

●東京メトロ丸の内線・淡路町駅 B3出口 ※(B3出口
 まで徒歩5分)

●都営地下鉄新宿線・小川町駅 B3出口 ※(B3出口ま
 で徒歩3分)

●JR中央線・総武線・御茶ノ水駅 聖橋出口(徒歩5分)

※B3a出口は、違う方向へ出ますのでご注意ください
 利用できませんので、公共機関でおいでください。

ご案内図



NPO法人東京腎臓病協議会

第4回総会式次第

開会あいさつ

定足数確認

・正会員参加人数確認

・総会の成立確認

会長あいさつ・黙祷

来賓あいさつ

祝電・メッセージ紹介

議長団選出

議事録署名人選出

審議事項 (下段参照)

・第一号議案～第三号議案

承認事項

閉会あいさつ

審議事項

第一号議案

平成20年度事業報告及び

収支報告

会計監査報告

第二号議案

平成21年度事業計画及び

収支予算(案)

第三号議案

役員選出・退任役員

承認事項

・総会・大会を別に開催す

ることについて

・会員拡大のお願いについ

て

・その他報告すべき事項

記念講演

「ドライウエイトの設定と

血圧の管理」

～快適な透析生活を続ける

ために～

講師 河北葦クリニック透析

学臨床

教授 篠田 俊雄 先生

【経歴】

東京医科歯科大学病院のほか、横須賀共

済病院、取手協同病院、武蔵野赤十字病

院、北信総合病院、信州大学病院、社会

保険中央総合病院

2008年6月から河北総合病院透析

センター長(河北葦クリニック)

【著書】

慢性腎臓病(CKD)の診断・治療と食

事療法、腎臓病の治療と食事療法―組み

合わせ自由な新レシピ付き、実践透析ガ

イドトラブル・アクシデント対応、臨床

医学総論(2)(臨床工学シリーズ)

エキサイトブックスより

二〇〇八（平成20）年度事業報告

期間 2008年4月1日～2009年3月31日

昨年度は特定非営利活動法人格をとって4年目の年になりました。

毎年会員拡大を最重要項目に上げておりましたが、会員の減少に歯止めがかからず困難な状況は今後も続くと思われます。また、会員減少に伴い非常に厳しい予算となり事業の見直し、委員会のあり方等考えていかなければなりません。そんな困難な状況の中で活動方針に則って今期も取り組みましたので以下のとおり報告いたします。

1. 腎臓病に関する知識の普及と予防等を促進する事業

①「臓器移植キャンペーン」・臓器提供意思表示カードの配布

第28回全国一斉臓器移植キャンペーンが今年も実施されました。

銀座でパレードが行われ、中南部、多摩ブロックの会員中心に各団体合わせて170名（東腎協会

員26名）の参加がありました。

また、同時開催の上野恩賜公園での「臓器移植意思表示カード」の配布は、5000枚を道行く人たちに手渡しました。54名の参加があり盛況でした。

②「腎臓病を考える都民の集い」を開催し、広く一般市民に腎臓病の早期発見・早期治療を啓蒙する事業の名称である「腎臓病に関する知識の普及と予防等を促進する事業」の目的を遂行するため「第21回腎臓病を考える都民の集い」が3月22日に総評会館で開催されました。参加者は186人でした。

第一部の講演では、透析治療選択に於いてあなたはインフォームドコンセントにどうかかわれるか、CKD（慢性腎臓病）についての解説及び質疑を東京女子医科大学東医療センター教授 佐中 孜（つとむ）先生をお迎えして講演

していただきました。

続いて「自分で自分をほめながら行う腎不全保存期患者さん及び透析患者さんに対する自己管理の勧め」・EASE（イーズ）プログラムの紹介・群馬大学医学部保健学科教授岡 美智代先生をお迎えして講演していただきました。

③機関誌「東腎協」の発行

編集委員会では、今期No173号の5月号からNo176号まで、定期発行しました。

特集についてNo173では、代々木山下医院院長の山下賀正先生に「シャントの合併症を予防する為に大切なこと」と題して解説していただきました。また、会員

さん訪問では100歳になられるすみなが相互診療所患者会・いずみの石井タネさんのお元氣な姿を取材させていただきました。No174では第3回通常総会の報告と「障害者福祉を巡る動向と課題」・今後の患者会活動への期待」と題して立命館大学産業社会学部現代社会科学科教授の峰島厚先生をお迎えして講演していただいた内容を掲載しました。No175では毎年行われている都予算要請の主な要請項目と回答について、8頁を割いて掲載しました。No176ではより地域に密着した草の根の活動を「ブロック長に聞く」と題して各ブロックの活動報告及び今後の課題と目標を各ブロック長に報告してもらい掲載しました。また、患者会設立までの事例を上げ、今後の新規患者会設立の参考に掲載しました。

今後ともまぎるしく変わっていく診療報酬の改定、長寿医療制度、透析関連、移植記事に掲載していきます。

また、来期は賛助会員の募集に力を入れ病院広告掲載をはじめ

いきなりたいと思います。

会報は会員の皆様の重要な情報と位置付け、今伝えなければいけない情報を迅速且つ正確にお伝えしていただける努力を重ねていきます。

④ホームページの維持管理を行い、活動内容を紹介し、腎臓病に対する意識の啓発を図る

ホームページ委員会では、これまでのホームページを平成20年10月にリニューアルしました。これに先立ち、4月より何度かホームページ制作会社と打ち合わせをし、東腎協の活動内容がわかりやすく、腎臓病への理解と腎臓の大切さがわかる内容を心がけました。

トップページには、腎臓病基礎知識、腎臓病危険度チェック、東腎協の活動実績と主な取り組み、患者会活動等のコーナーを作りまし

ました。また、トビックスには、「総会」、「臓器移植推進キャンペーン」、「腎臓病を考える都民の集い」などの行事のお知らせをいち早く掲載し一人でも多くの方が活動に参加できるように情報提供をしてきました。

今後は、より内容を充実させるため、さらにホームページの作成

に取組んでいきます。

具体的には、

1. 【よくある質問】のコーナーの作成

①透析医療、②医療制度、③災害対策、④社会保障、⑤患者会について、⑤東腎協、全腎協について、⑥その他、

2. 患者会の活動記録を充実させます。

3. 「腎臓病とは」の項目の充実。血液透析の次に腹膜透析、移植を追加する。

4. 災害対策の頁へより多くの情報を掲載する。

5. 本年度の活動予定の中で新たに始まる賛助広告の募集をホームページでも呼びかける。

6. 統計資料として、日本透析医学学会が発表した慢性透析に関する資料表を掲載する。(リンクを貼る)

さらに今後の取り組みとして、地域腎友会の取り組み等を掲載していきます。全国の腎臓病協議会とのリンクの構築、情報交換等も行っていきたいと思っています。

以上、予算の関係や作業上の限界もありますが、必要性の高いものから順次取組んで皆様の情報発

信基地として活用していただければと思います。

⑤広く一般市民に腎臓病に関する正しい知識の普及と予防を促進するため、対話のできる学習交流会を開催する

この事業については主に各ブロック活動、交流会や青年層を対象とした活動によって対応してきました。また、病院訪問、会員交流会を行い知識普及に努めました。

今後とも、意義ある事業となると思われますので、継続していききたいと思います。

①各ブロック活動

北部ブロック

今期の未組織施設への訪問活動は2008年9月25日から2009年3月30日迄、NPO東腎協のPRと会員拡大活動を行ないました。

下期の活動では十月五日に臓器移植キャンペーンが上野公園にて開催され、北部からは理事四名が参加し「ドナーカード」の配布を行ないました。

また、10月26日(日)に豊島区生活産業プラザにて本年の会員交

流会を開催し、全部で四十六名の会員・患者の皆さんに出席して頂きました。

第一部では、榎原会長から「後期高齢者医療制度の現状」について、第二部では、代々木山下医院の山下賀正(のりまさ)院長より「血液検査データをどう読むか」と題し、講演して頂きました。

北部ブロックにも残念ながら解散してしまつた患者会が数か所ありますが、事前にそれらの施設を訪問し、今回の学習交流会のポスターを掲示して頂きました。

その甲斐あって、そのうち2か所から患者・関係者に参加して頂きました。

今後とも、一人でも多くの透析患者に会員になって頂けるよう、正会員並びに役員各位のご尽力と協力をお願いします。

中南部ブロック

中南部には透析施設は142ありますが、患者会はわずか23患者会(今年度は新患者会が誕生しました)と低迷しています。また、残念ながら、患者会の役員が高齢化して、次代にバトンタッチ出来ず、解散した患者会も現れていま

す。

一方、個人会員は約140人と4ブロックの中で一番多くなっています。

【今年度の主な活動】

①会員交流会、②大島訪問、

③学習交流会、④会員拡大

②の大島腎友会は、中島会長を中心に病院、会員、地域がとも良くまとまっています。会活動や通院送迎などの意識も高く、患者会のあるべき姿を学ばせてもらいました。

また、今まで開催したことのない大島での「学習交流会」を開催することも検討課題です。

③の学習交流会は代々木山下医院の山下賀正先生の講演で、中南部ブロックとしては大変多くの、50名を超える参加者がありました。

④は患者会未組織の病院クリニックに訪問しました。また、「腎臓病を考える都民の集い」のボスターを患者会未組織の病院、クリニックに郵送しました。

【中南部ブロックサポーター募集予定！】

中南部ブロックは特に患者会組織率が低く、会員拡大の病院訪問

は不可欠ですが、病院を訪問する理事が一部に限られている（仕事や体調の問題）のが現状です。

病院訪問については、今後、正会員の協力も得ながら進めたいと思います。

東部ブロック

今期のブロック活動基本計画に基き、2回の学習交流会と組織拡大に力をいれました。

第1回目の東部ブロック交流会は8月31日（日）に亀有地区センターで開催し参加者40人でした。

木村ブロック長の挨拶の後、第一部は小関事務局長から患者会のあり方について話してもらい、第二部は戸倉副会長から災害対策について話してもらいました。

第2回目の東部ブロック学習交流会は11月30日（日）に、親水クリニック患者・病院関係者13名、その他患者会及び個人会員は7施設から11名、東腎協役員を含め31名の参加がありました。

第一部は透析の医療制度について、小関事務局長に講演していた続きとして第二部「患者会活動について」戸倉副会長より講演してもらいました。

その後、親水クリニックの患者さんで集まり、今後の話し合いを持つてもらい患者会設立に向けてスタートを切ることができました。

◇今後の課題と目標

（No176特集参照）

目標に向けて東部担当理事全員が精力的に取組んで行くと共に、正会員などの協力を求めて行く事が緊急課題であり、新規患者会設立を助めていく一方で、きちんと既存患者会に対してアフターフォローして行く事が大事になってくると思います。

多摩ブロック

会員学習交流会を2回開催いたしました。

第1回は6月29日に国分寺しほで代々木山下医院院長の「より良い透析生活を送るシャントの話」、第2回は1月25日、八王子クリエイトホールで第一部は「透析介護と通院介護の問題」を。すずらんの会の事務局長で介護福祉士の伊藤先生に、第二部は「多摩地区の災害時透析医療ネットワークの現状と課題」のテーマで、府中腎クリニックの杉崎院長に講演していただきました。3グループ

の役員会も今期は各2回行いました。計画としては、年3回行うこととしておりますが、他の行事と合併し各グループ共に2回でした。

最後に今期は第1グループに日野クリニック（柿沼様）、第2グループに三和クリニック（矢崎様）、

第3グループに久米川駅前腎内科クリニック（岩男様）のグループが設立され、多摩ブロックは45患者会、グループ会となりました。

（2）会員拡大施設訪問

会員拡大を目的とした施設訪問を月2、3回のペースで各理事が分担してブロックごとに活動しております。（以下抜粋です）

施設訪問報告

4/1 会員拡大訪問豊島中央病院（橋原、石山）

5/13 小川クリニック、東大井クリニック、今尾医院、

大井小川クリニック、大井三つ又クリニック、大崎病院東京ハートセンタ

1、目黒駅前ビルクリニック、進興クリニック、旗の台小池クリニック

（吉澤）

6/10 小川クリニック、千葉医

院、大森山王病院、牧田
総合病院、すずき内科ク
リニック、伏見クリニッ
ク、黒田病院、沢井医院
(吉澤)
6/12 井口泌尿器科井口院長と
面談(蛭田、中村)
6/23 野中医院野中博院長訪問
(全腎協栗原常務理事、
小関)
7/5 自靖会親水クリニック訪
問(石井)
7/5 日野クリニック グルー
プ設立となった。(木下)
7/10 自靖会親水クリニック会
員拡大打合せ(石井、岸
里)
8/21 小平北口クリニック(糸
佐藤真佐子(正会員))
武蔵村山病院(糸)
9/9 谷中三和クリニック訪問
鶴岡院長、塩崎事務長と
面談(小関)
9/25 くすのき21クリニック、
小林病院、八木内科、イ
ムス記念病院、くろさか
青木クリニック、大和病
院(菊地、古木)
10/2 池袋西口駅前クリニック、
望星赤羽クリニック(菊

地・古木)
10/16 府中腎クリニック、寿腎
クリニック、三好腎クリ
ニック、慈秀病院(木下、
梅原)
11/25 吉祥寺駅前クリニック、
吉祥寺南病院、武蔵野陽
和会病院、さくら並木ク
リニック、みたかの森ク
リニック(木下、山口)
12/16 駒込共立クリニック、す
がも腎クリニック、田端
駅前クリニック(菊地、
古木)
1/24 板橋中央病院の赤松医師
がクリニックをオーブン
した内覧会(榊原、菊地、
古木)
3/10 大和病院、板橋駅前クリ
ニック、駒込共立クリニ
ック(榊原、石山、駒
込共立クリニック訪問
(岸里)
3/12 町田ふれあいホスピタル、
麻生病院訪問(岸里、木
下)
以上、理事を中心に正会員に協
力いただきながら時間のある時に
会員拡大運動を継続してきました。
「既存患者会の会員維持拡大、

患者会未組織施設への訪問」を柱
として、昨年度も施設訪問に特に
力を入れ、東腎協の存在すら知ら
ない透析患者がいる状況をなくそ
うと活動してきました。また既存
の患者会についても、東腎協がど
うサポートしていくのが課題と
なっています。また、新規患者会
設立に至っては、アフターフォロ
ーがとても重要で、会の運営、事
務処理をどのようにしていいの
か分からない等で指導が必要にな
ります。
具体的には、年間活動計画や人
事、事務処理に至っては入会案内、
会則、会議の進め方、お金の管理
の仕方等の教育プログラムの作成
等していくことが、今後の課題と
なってきました。

催の第22回「関東ブロック青年交
流会 in かながわ」に5名が参加
しました。年金制度を中心に身近
な問題に議論は盛り上がりました。
平成20年11月2日は昭和記念公園
にて東腎協青年部主催のパーベキ
ュー大会を行い、青空のもと42名
の参加があり大盛況となりました。
初めて利用する会場で不慣れなと
ころもありましたが、改めて患者
会内での協力体制の大切さを感じ
このイベントで得たものが今後の
活動の基盤の一部になるよう努力
していきたいと思っています。

〈3〉青年部活動
平成20年度の青年部の活動内容
をご報告いたします。平成20年8
月30日、31日は全腎協「第2回青
年会議」に2名が参加しました。
次世代のリーダーに向けての講演
会は、各県の代表者のモチベーシ
ョンを維持・向上させる意味で非
常に参考になる講演でした。平成
20年9月27日、28日は神奈川県主
・足立区腎友会はタクシー券が障

害者に3,000円の増額となりました。また、災害時透析者用ワッペンとトリアージの確立を請願しております。

・葛飾区腎友会はタクシー券が1万円の増額となり請願の努力が実現しました。また、災害時の区独自の災害手帳の発行が決まりました。

・江東腎臓病を考える会は、タクシース初乗り料金が上がりましたので3千円の増額が決定しました。

・墨田区地域腎友会はタクシー券の陳情で障害者には5千円・透析者は別に1万5千円の増額となりました。(65才から新規に透析に入られた方にも給付)また、区のリハビリ温泉も障害者手帳を見せれば半額となりました。

・荒川腎友会は地域の障害者7団体で構成する荒川区心身障害児(者)のためのリストバンドを作製しました。

・NPO法人板橋区腎友さくら会は、板橋区長に対してタクシー券の増し等も含む5項目の事項を提出し回答を頂いており、ピアカウンセリングを着実に進めております。

・町田市腎友会は市の健康課を中心とし市の全医療機関(透析関係)

係)との3グループで透析医療機関連絡協議会として町田市災害時透析医療活動マニュアルを作成し9年度に発行されました。

尚、今年中に八王子市地域腎友会を発足したく計画しております。

2. 腎臓病に関する知識の普及と予防等を促進する事業

広く一般市民の腎臓病に関する医療・社会保障制度の相談業務・相談業務は月に5件のペースで電話相談を主に行っていました。

特に「第21回腎臓病を考える都民の集い」の相談は会場の参加者から数多く寄せられ、当初の目的を達しました。また、時間の取れぬ理事で電話当番として出勤してもらい、理事のレベルアップを推進しております。

3. 腎臓病患者の医療体制の充実と福祉の向上を図る事業

①「都庁予算要請懇談会」都庁各局職員との懇談
行政委員会

私たちの自治体である東京都、私たちが透析患者(腎臓病患者も含

む)の所管である、都庁福祉保健局(中でも特に直轄の部署の疾病対策課)を始めとする、5つの部署、庁との「要請懇談会」を7月17日に臨みました。

私たち、透析患者(CKD患者も含め)の最も大きな活動である「命と暮らしを守る」を、堅持して行く最大の支えと拠り所である現在の医療並びに福祉制度を堅持継続を始めて、幾つかの重点項目を中心に、私たち患者の不安、願い、将来の展望、期待等心を込めて訴えて来しました。

会員の皆様への朗報として、粘り強く継続して要望を続けてきた成果が、お陰様で今年度2項目実現する事が出来ました。一に今年度第21回を迎える東京都の共催の「腎臓病を考える都民の集い」に自民党さんの力強いご支援により、30万円の予算化が実現致しました。

二に「災害時食事制限用の備蓄米」について(詳しくは収益事業委員会参照)

これからのNPO東腎協の行政と議会への要望実現への確かな実績となり、今後の養成活動への道筋と足掛りになってくれればと期待するものであります。(詳しく

は機関誌「東腎協No175」トビックスを参照して下さい)

2008年度都庁予算要請

腎臓病患者の医療体制の充実と福祉の向上を図る事業、この事業遂行のため今年度の行政委員会は、

これまでも志して来た「行政とのより良いコミュニケーションを目指して、(2)政治(都議会)への強い働きかけと透析医療の実態理解の推進(3)透析患者の現状、医療・福祉制度の死守等を活動の柱として努力してまいりました。重要な活動として全力を挙げて取り組んでおります、7月の行政各局への「都庁予算要請」を丸

1日かけ真剣に要請しました。本年度の詳細要請項目は既に機関誌No175に掲載済みであります。本年度「NPO法人東腎協」としての最重要項目として

①心身障害者医療費助成制度マル障の堅持継続、東京都医療費助成制度マル都の堅持継続

②災害時、緊急時透析治療体制の早期確立

③糖尿病性腎症からの透析患者増加防止のための知識や予防、管理体制の強化

④ 腎臓病、予防、啓発活動の「都民の集い」の予算化

⑤ 腎臓移植体制の強化、特に献腎移植普及のための予算化
以上要望しました。

②「都議会ヒアリング」都議会議員との懇談

9月4日、共産党、自民党、公明党、生活者ネットワーク、民主党の順に面接、時間の限られた中、行政に行った要望をより簡潔に、「政治の力は是非、社会的弱者に、透析患者にお貸し願いたい」と訴えてきました。

災害対策委員会

災害対策委員会では、東腎協加入会者に配布している緊急時透析患者者手帳の在庫がなくなったため、前年度から予算計上し、改訂版の発行に向けて取り組んできました。改定作業は、東腎協事務局の引越しによる住所の変更があり再改定による無駄をさけるため、今年度にずれ込んだ形で本格的に作業することになりました。改定の内容については、既存のものをベースにして、「(社)全腎協発行の「災害対策マニュアル」(平成20年3月

改定版)」、東京都福祉保健局発行の「災害時における透析医療活動マニュアル」(平成18年3月改定版)」、また、災害対策について先進的な取り組みがなされている神奈川県、NPO法人大和市民友会発行の「透析者のための防災マニュアル」及び防災手帳(平成18年版)等を参考にし、良いと思われものを取り込み、また会員登録を兼ねる形で大幅な刷新を行いました。なお、東京都支部の透析施設は「東京都支部災害透析ネットワーク」加入の施設を、三多摩地区の透析施設は「三多摩地区災害透析ネットワーク」加入の透析施設を中心に、東腎協加入患者会がある施設を加え、連絡先一覧を掲載しました。また、同時作業として、東腎協としての災害に対する事前の準備、災害発生時の処置についての行動要領、任務分担などを定めた「災害対策マニュアル」を策定し緊急時透析患者者手帳と同時に発行したいと考えましたが、現実的なことを考えると課題も多く実現に至っていません。実際に大災害発生時には内外の各団体との情報伝達を確実に行うためには必要なことなので、今後の課題と

し検討をしていきます。

4. 関連する他団体との協同事業

①「国会請願」

第38次国会請願は3月26日に国会への行動を実施しました。

署名数、全腎協は29、041(前年32,439)筆で、JPAは28,369(前年31,473)筆でした。募金はJPAとあわせて2,170,369円(前年2,408,321円)でした。

当日は多数の国会議員の先生方に会員の努力の結晶の署名用紙を渡してお願ひしてしました。

②(社)全腎協、NPO東難連に協力及び協力を金を出し、不特定多数の方々へ腎臓病について広く啓蒙活動を行う

全腎協

「命と暮らしを守る」活動として、全腎協は会員数日本一の自負心のもと、日頃よりその目的の、国(特に厚生労働省)への働きかけや、腎臓病予防の啓発、啓蒙活動、臓器移植の推進活動策を始めとする、障害者や社会的弱者の救済や自立の為の社会保障制度を目

指し、広範囲の活動を行っております。

東難連(難病16団体で組織している団体)

田中理事が、NPO東難連理事として就任し平成16年10月1日から東京都より「東京都難病相談・支援センター」事業を受託し、地域で生活する難病患者、家族の医療・福祉・就労に関する相談・支援を行ってきました。毎年疾病別の無料相談会を8回、就労支援シンポジウム1回とピア相談員研修会を実施し、今年度は受講者11名に初級ピア相談員の認定書を発行しました。また、疾病別の相談事例集も発行しています。

5. 福祉移送相談・推進事業

NPOを取得し、通院福祉移送を行おうとする団体の相談及び全腎協助成金申請の推薦
今年度は福祉移送についての相談、全腎協への助成金申請の推薦はありませんでした。

6. 腎臓病患者の食療法に資する事業

①低たんぱく米の広報・斡旋、災害時備蓄米斡旋
活動報告

6/11 中野区立武蔵台小学校の
田植えに参加
8/19 収益事業委員会会議
8/24 収益事業委員会会議

収益事業委員会

「腎臓病患者の食療法に資する事業」を新潟県長岡市の(有)エコ・ライス新潟とNPO法人米ニケーションとの「業務連携協定」「災害支援協定」「低タンパク米等販売の契約」を平成18年4月に締結して、3年経過致しました。会報で積極的「春陽」の広告を出し、会員の皆様に広報してきました。透析患者にはタンパク制限が緩く、低タンパク米のニーズが少なかったのです。そこで本年度をもって「春陽」の販売を根本から見直す事となっていたのですが、本年18年、6月に東京都知事宛に提出した「災害備蓄米に春陽を」との陳情書を、NHKが取り上げた事や、自民党、公明党の後

押しもあり、(有)エコ・ライス新潟が開発した「春陽」を使用した加工品の「はんぶん米」が、東京都の「災害備蓄米」に採用される事に決定し、5年間、計15万食のうち既に第1回目(1年目)3万食が購入されます。

尚、「春陽」の販売そのものは来期に向けて(有)エコ・ライス新潟さんと相談の上、見直す方針に変わりはありません。

また、来期に向けて収益事業委員会として、是非新しい企画を皆様に提案したいと考えています。

②NPO米ニケーションと協力し、小学校社会科の授業の一環である「低たんぱく米」収穫までの補助及び教員とともに食育指導を行う日時・6月11日(水)に中野区立武蔵台小学校でエコ・ライス新潟から3名、東腎協1名、新潟テレビ1名の参加で行われました。毎年、中野区立武蔵台小学校5年生が、授業の中に取り入れている田植えに参加してきました。

腎臓病患者の立場から岸里事務局員が、腎臓病とはどのような病気なのか、また今回はパネルを作成してよりわかりやすい内容にし

て低タンパク米が必要な理由を説明しました。

東腎協としても都庁予算要請で、毎年教育庁に要請していることで、学校検尿受診を徹底してもらおう併せて説明をしてきました。

7. その他の事業 広告掲載事業・年4回の 機関誌上広告掲載

NPO東腎協の機関誌「東腎協」の誌面に理事会で承認を得た、業者の広告を掲載する事業であり、その広告記事を掲載することにより、会員の福利につながることを期待して事業の拡大に努力しています。編集委員会が担当し、会員との唯一のパイプである機関誌の作成とともに、広告業者との交渉・広告原稿のチェックなど行っています。年度協力頂いた広告主様は次の各社です。(順不同)

エルビス(株)、ベータ食品(株)、明治製菓(株)、(有)ゲルソン商会、テンブスタッフフロンティア(株)、(株)イーホープ、(株)ハッソー、(株)サニーコーポレーション

2008年7月

スポーツセンター会議室
26 全腎協理事研修会

2008年8月

1 東京都障害者団体連絡協議会
会議(都庁)第63回関東ブ
ックin山梨提案議題、活動報
告書作成

5 都生活福祉部早川課長、蛇子
係長様備蓄米について来局
視移連会議

3 全腎協金子事務局長の紹介で
全腎協課題別会議、会員拡大
施設訪問 自靖会親水クリニ
ック訪問 青年部勉強会、青
年部会議

7 青年部勉強会
9 清湘会グループ勉強会
10 ブロック長会議、HP委員会、
第11回地域腎友会交流会

6 中南部ブロック交流会
新事務所契約
9 会員拡大施設訪問 日野クリ
ニック グループ設立となつ
た

19 収益事業委員会
21 会員拡大施設訪問 小平北口
クリニック
23 会員拡大施設訪問 南街クリ
ニック

8 新事務所契約
9 会員拡大施設訪問 日野クリ
ニック グループ設立となつ
た

23 優人クリニック取材
24 収益委員会、編集委員会、災
害対策委員会、第29回理事會
東部ブロック学習交流会

10 会員拡大施設訪問 小作クリ
ニック、青梅かすみ白クリニ
ック、井の頭クリニック、寺
田病院

25 東部ブロック学習交流会

12 災害対策委員会、HP委員会
多摩ブロック第2グループ会
議

2 全腎協打ち合わせ
会員拡大施設訪問 東久留米
クリニック

15 日本共産党障害者懇談、会員
拡大施設訪問、武蔵村山病院
東京都予算案請願懇談会、東腎
協No.174責了

4 都議会ヒアリング
6 全腎協理事會
7 事務局移転
9 谷中三和クリニック訪問鶴岡
院長、塩崎事務長と面談
第33回腎不全を語る集い

23 全腎協理事研修会
第28回理事會、東京都障害者

9 谷中三和クリニック訪問鶴岡
院長、塩崎事務長と面談
第33回腎不全を語る集い

25 全腎協理事研修会
第28回理事會、東京都障害者

9 谷中三和クリニック訪問鶴岡
院長、塩崎事務長と面談
第33回腎不全を語る集い

25 全腎協理事研修会
第28回理事會、東京都障害者

9 谷中三和クリニック訪問鶴岡
院長、塩崎事務長と面談
第33回腎不全を語る集い

25 全腎協理事研修会
第28回理事會、東京都障害者

9 谷中三和クリニック訪問鶴岡
院長、塩崎事務長と面談
第33回腎不全を語る集い

25 全腎協理事研修会
第28回理事會、東京都障害者

9 谷中三和クリニック訪問鶴岡
院長、塩崎事務長と面談
第33回腎不全を語る集い

25 全腎協理事研修会
第28回理事會、東京都障害者

9 谷中三和クリニック訪問鶴岡
院長、塩崎事務長と面談
第33回腎不全を語る集い

25 全腎協理事研修会
第28回理事會、東京都障害者

9 谷中三和クリニック訪問鶴岡
院長、塩崎事務長と面談
第33回腎不全を語る集い

18 大島腎友会訪問
21 会員交流会22患者会42人会員
出席

25 北部ブロック会員拡大施設訪
問 くすのき21クリニック、
小林病院、八木内科、イムス
記念病院、くろさか青木クリ
ニック、大和病院

27 HP委員会
全腎協関東ブロック青年交流
會

28 北部ブロック役員会議、多摩
ブロック役員会議、第30回理
事會、中南部ブロック会議

28 参議院民主党移植勉強会、臓
移連會議、北部ブロック会員
拡大施設訪問、池袋西口駅前
クリニック、望星赤羽クリニ
ック

2 青年部勉強会
第28回臓器移植推進キャンペ
ーン

4 銀座パレード:26人、上野恩
賜公園:54人
会員拡大施設訪問、町田市民
病院、東腎協No.175入稿
多摩ブロック会員拡大施設訪
問、ふれあい町田ホスピタル
東腎協No.175初校

9 多摩ブロック会員拡大施設訪
問、ふれあい町田ホスピタル
東腎協No.175初校

9 多摩ブロック会員拡大施設訪
問、ふれあい町田ホスピタル
東腎協No.175初校

9 多摩ブロック会員拡大施設訪
問、ふれあい町田ホスピタル
東腎協No.175初校

9 多摩ブロック会員拡大施設訪
問、ふれあい町田ホスピタル
東腎協No.175初校

9 多摩ブロック会員拡大施設訪
問、ふれあい町田ホスピタル
東腎協No.175初校

9 多摩ブロック会員拡大施設訪
問、ふれあい町田ホスピタル
東腎協No.175初校

9 多摩ブロック会員拡大施設訪
問、ふれあい町田ホスピタル
東腎協No.175初校

9 多摩ブロック会員拡大施設訪
問、ふれあい町田ホスピタル
東腎協No.175初校

9 多摩ブロック会員拡大施設訪
問、ふれあい町田ホスピタル
東腎協No.175初校

12 総会あり方委員会
14 都庁笹井課長及び都議会訪問
多摩ブロック打合せ、北部ブ
ロック打合せ

15 会員拡大施設訪問、府中腎ク
リニック、寿腎クリニック、
三好腎クリニック、慈秀病院
東腎協No.175責了

18 第37回全腎協総会
19 第37回全腎協総会
26 北部ブロック総勢46、多摩ブ
ロック第3グループ会議 総
勢8人

28 第16回製薬協患者会セミナー
(榎原)
29 元全腎協常務理事小林様お通
夜参列

30 元全腎協常務理事小林様告別
式参列

2 全腎協相談員研修会
中南部ブロック学習交流会
会員49名、総勢56人、青年部
主催パーベキュー大会総数42
人、相談員研修会2日目
群馬県腎臓病患者連絡協議会
第32回理事會
23 第77回全腎協理事會
多摩ブロック会員拡大施設訪
問、吉祥寺駅前クリニック、

2 全腎協相談員研修会
中南部ブロック学習交流会
会員49名、総勢56人、青年部
主催パーベキュー大会総数42
人、相談員研修会2日目
群馬県腎臓病患者連絡協議会
第32回理事會
23 第77回全腎協理事會
多摩ブロック会員拡大施設訪
問、吉祥寺駅前クリニック、

2 全腎協相談員研修会
中南部ブロック学習交流会
会員49名、総勢56人、青年部
主催パーベキュー大会総数42
人、相談員研修会2日目
群馬県腎臓病患者連絡協議会
第32回理事會
23 第77回全腎協理事會
多摩ブロック会員拡大施設訪
問、吉祥寺駅前クリニック、

2 全腎協相談員研修会
中南部ブロック学習交流会
会員49名、総勢56人、青年部
主催パーベキュー大会総数42
人、相談員研修会2日目
群馬県腎臓病患者連絡協議会
第32回理事會
23 第77回全腎協理事會
多摩ブロック会員拡大施設訪
問、吉祥寺駅前クリニック、

2 全腎協相談員研修会
中南部ブロック学習交流会
会員49名、総勢56人、青年部
主催パーベキュー大会総数42
人、相談員研修会2日目
群馬県腎臓病患者連絡協議会
第32回理事會
23 第77回全腎協理事會
多摩ブロック会員拡大施設訪
問、吉祥寺駅前クリニック、

2 全腎協相談員研修会
中南部ブロック学習交流会
会員49名、総勢56人、青年部
主催パーベキュー大会総数42
人、相談員研修会2日目
群馬県腎臓病患者連絡協議会
第32回理事會
23 第77回全腎協理事會
多摩ブロック会員拡大施設訪
問、吉祥寺駅前クリニック、

2 全腎協相談員研修会
中南部ブロック学習交流会
会員49名、総勢56人、青年部
主催パーベキュー大会総数42
人、相談員研修会2日目
群馬県腎臓病患者連絡協議会
第32回理事會
23 第77回全腎協理事會
多摩ブロック会員拡大施設訪
問、吉祥寺駅前クリニック、

2 全腎協相談員研修会
中南部ブロック学習交流会
会員49名、総勢56人、青年部
主催パーベキュー大会総数42
人、相談員研修会2日目
群馬県腎臓病患者連絡協議会
第32回理事會
23 第77回全腎協理事會
多摩ブロック会員拡大施設訪
問、吉祥寺駅前クリニック、

2 全腎協相談員研修会
中南部ブロック学習交流会
会員49名、総勢56人、青年部
主催パーベキュー大会総数42
人、相談員研修会2日目
群馬県腎臓病患者連絡協議会
第32回理事會
23 第77回全腎協理事會
多摩ブロック会員拡大施設訪
問、吉祥寺駅前クリニック、

2 全腎協相談員研修会
中南部ブロック学習交流会
会員49名、総勢56人、青年部
主催パーベキュー大会総数42
人、相談員研修会2日目
群馬県腎臓病患者連絡協議会
第32回理事會
23 第77回全腎協理事會
多摩ブロック会員拡大施設訪
問、吉祥寺駅前クリニック、

2 全腎協相談員研修会
中南部ブロック学習交流会
会員49名、総勢56人、青年部
主催パーベキュー大会総数42
人、相談員研修会2日目
群馬県腎臓病患者連絡協議会
第32回理事會
23 第77回全腎協理事會
多摩ブロック会員拡大施設訪
問、吉祥寺駅前クリニック、

14	13	11	7	5	4	3	1	2008年12月	29	27
第33回理事会	中間会計監査 臓移連幹事会	第4回臓器移植市民公開講座、 臓移連幹事会	全腎協障害年金について要望 書を国会議員へ提出	あり方委員会、三役、委員長、 ブロック長会議	全腎協障害年金について要望 書を国会議員へ提出	製薬協医療政策セミナーの会 報ぜんじんきょうNo230テ ープ録音	全腎協金子事務局長訪問 第32回理事会議事録	近大姫路看護学部長岡谷先生、 群馬大学保健学科教授岡先生 NPO法人日本慢性疾患セル フマネジメント協会武田様と 全腎協金子事務局長訪問	東部ブロック親水クリニク 患者さんを中心とした学習交 流会	吉祥寺南病院、武蔵野陽和会 病院、さくら並木クリニク、 みたかの森クリニク 多摩ブロック会員拡大施設訪 問、国領石川クリニク、神 代クリニク、武蔵野赤十字 病院透析センター 東部ブロック親水クリニク 患者さんを中心とした学習交 流会
24	18	18	17	14	13	11	10	8	7	5
板橋中央病院の赤松医師がク	ワーク報告・講演	東京都災害時透析医療ネット 第34回理事会	青年部勉強会 出席	東京都障害者団体連絡協議会 出席	臓移連幹事会	三役会	11 全腎協理事会	帳初校	東腎協No176初校、災害手 集い	都庁、都議会へ新年の挨拶 第21回腎臓病を考える都民の 集い
22	20	19	16	10	8	7	5	4	3	1
市民公開講座「質の高い慢性	全腎協編集会議	第38次国会請願署名整理、署 名16,000名分発送、第6 回日本在宅透析支援会議・懇 談会出席	第35回理事会	東部ブロック会議	第21回腎臓病を考える都民の 集い、東京女子医大佐中教授 と講演打ち合わせ	設立準備 第21回腎臓病を考える都民の 集い、東京女子医大佐中教授 と講演打ち合わせ	自請会親水クリニク患者会 設立準備 第21回腎臓病を考える都民の 集い、東京女子医大佐中教授 と講演打ち合わせ	第21回腎臓病を考える都民の 集い、東京女子医大佐中教授 と講演打ち合わせ	第21回腎臓病を考える都民の 集い、東京女子医大佐中教授 と講演打ち合わせ	第21回腎臓病を考える都民の 集い、東京女子医大佐中教授 と講演打ち合わせ
26	22	19	15	11	10	8	3	1	24	25
第38次国会請願	第21回腎臓病を考える都民の 集い入場者186人 内理事 他役員32人	臓器移植法改正の件で東邦大 学医学部相川教授と国会議員 訪問	全腎協総会	第36回理事会	臓移連会議・請願書を衆参議 院へ提出・記者会見、町田ふ れあいホスピタル、麻生病院 広告の件で訪問	立クリニク	北部ブロック訪問、大和病院、 板橋駅前クリニク、駒込共 立クリニク	世界腎臓デーイベント、腎臓 チエックキット配布キャンベ ーン	キドニー・ウォーク 北部ブロック・都民の集いボ スター揭示のお願いで施設訪 問	第21回腎臓病を考える都民の 集い講演打ち合わせ、東京女 子医大東医療センターで佐中 教授と、NHKためしてガッ テンでディレクター飯野様、 第21回腎臓病を考える都民の 集い打合せで都庁責係長面談、 各種書類整理、第21回腎臓病 を考える都民の集い準備、都 民の集い都担当の資料集め、 都民の集いポスター打合せあ かつき印刷訪問 第21回全腎協理事會 自請会親水クリニク患者会 設立準備 第21回腎臓病を考える都民の 集い、東京女子医大佐中教授 と講演打ち合わせ
									2009年3月	2009年2月
									第21回腎臓病を考える都民の 集い講演打ち合わせ、東京女 子医大東医療センターで佐中 教授と、NHKためしてガッ テンでディレクター飯野様、 第21回腎臓病を考える都民の 集い打合せで都庁責係長面談、 各種書類整理、第21回腎臓病 を考える都民の集い準備、都 民の集い都担当の資料集め、 都民の集いポスター打合せあ かつき印刷訪問 第21回全腎協理事會 自請会親水クリニク患者会 設立準備 第21回腎臓病を考える都民の 集い、東京女子医大佐中教授 と講演打ち合わせ	リニクをオープンした内覧 あかまつ透析クリニク祝賀 会、多摩ブロック学習交流会 第21回腎臓病を考える都民の 集い講演打ち合わせ、東京女 子医大東医療センターで佐中 教授と、NHKためしてガッ テンでディレクター飯野様、 第21回腎臓病を考える都民の 集い打合せで都庁責係長面談、 各種書類整理、第21回腎臓病 を考える都民の集い準備、都 民の集い都担当の資料集め、 都民の集いポスター打合せあ かつき印刷訪問 第21回全腎協理事會 自請会親水クリニク患者会 設立準備 第21回腎臓病を考える都民の 集い、東京女子医大佐中教授 と講演打ち合わせ

財 産 目 録

平成21年 3月31日現在

一般会計

(単位:円)

科 目	金 額		
【資産の部】			
流動資産			
現金預金	22,440,970		
現金 現金手許有高	73,320		
郵便振替(南大塚郵便局)	2,135,924		
郵便貯金(南大塚郵便局)	592		
普通預金(三菱東京UFJ銀行)	12,731,134		
定期預金(三菱東京UFJ銀行)	7,500,000		
未収金	2,540,916		
流動資産合計		24,981,886	
固定資産			
その他の固定資産			
什器備品	65,395		
権利金等	267,750		
保証金	585,000		
退職給与積立預金(南大塚郵便局)	925,000		
その他の固定資産合計	1,843,145		
固定資産合計		1,843,145	
資産合計			26,825,031
【負債の部】			
流動負債			
未払金	241,400		
預り金	10,720		
源泉税預り金	10,720		
流動負債合計		252,120	
固定負債			
退職給与引当金	925,000		
固定負債合計		925,000	
負債合計			1,177,120
正味財産			25,647,911

貸借対照表

平成21年 3月31日現在

一般会計

(単位:円)

科 目	金 額	
【資産の部】		
流動資産		
現金預金	22,440,970	
未収金	2,540,916	
流動資産合計		24,981,886
固定資産		
その他の固定資産		
什器備品	65,395	
権利金等	267,750	
保証金	585,000	
退職給与積立預金	925,000	
その他の固定資産合計	1,843,145	
固定資産合計		1,843,145
資産合計		26,825,031
【負債の部】		
流動負債		
未払金	241,400	
預り金	10,720	
流動負債合計		252,120
固定負債		
退職給与引当金	925,000	
固定負債合計		925,000
負債合計		1,177,120
【正味財産の部】		
正味財産		25,647,911
(うち当期正味財産減少額)		1,481,088
負債及び正味財産合計		26,825,031

固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

平成 21年 3月31日現在

有形固定資産

(単位: 円)

種 類	取得価格	減価償却額	減価償却累計額	当期末残高
シュレッダー リコー2211PT	103,000	1,030	99,910	3,090
液晶カラーモニター シャープ	131,040	1,310	127,108	3,932
オートコレクター UC1000	249,950	2,499	242,541	7,409
デジタル1眼レフカメラ キヤノン	110,787	19,941	59,823	50,964
合 計	594,777	24,780	529,382	65,395

無形固定資産

種 類	取得価格	償却額	償却累計額	当期末残高
権利金等	315,000	47,250	47,250	267,750
合 計	315,000	47,250	47,250	267,750

1 重要な会計方針

什器備品及び権利金等について減価償却を行う。

減価償却の方法は以下の通りとする。

什器備品については定額法、
権利金等については、5年間の月割均等償却

資金の範囲には、現金・預金(退職積立預金を除く)のほか未収金・仮払金・未払金・預り金を含めている
なお、当期末残高は、下記の表のとおりである。

前期、当期の次期繰越収支差額の内容は、下記の表のとおりである。

科 目	前期末残高	当期末残高
現金 預 金	25,486,264	22,440,970
仮 払 金	49,000	0
未 収 金		2,540,916
合 計	25,535,264	24,981,886
未 払 金		241,400
預 り 金	12,040	10,720
次期繰越収支差額	25,523,224	24,729,766

2008年度(平成20年度)決算 特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

収入の部

2008年4月1日～2009年3月31日 (単位:円)

大科目	中科目	予算	決算	%	備考
1.金費収入	会費収入 賛助会費収入	30,800,000 30,780,000 20,000	29,302,900 29,287,900 15,000	95.1% 95.2% 75.0%	3月31日現在会費収入
2.事業収入	提携手数料収入 都民の集い協賛金収入	40,000 40,000	735,413 35,413	1838.5% 88.5%	エコ・プラス注文手数料 パワースター、日本財団他
3.寄付金収入	寄付金収入 募金収入	3,970,000 1,570,000 2,400,000	3,175,192 1,004,823 2,170,369	80.0% 64.0% 90.4%	扶桑薬品他 国会清願尊金
4.その他の収入	受取利息収入 資料印刷代収入 資物品販売収入	198,000 21,000 87,000 90,000	256,727 31,157 83,360 142,210	129.7% 148.4% 95.8% 158.0%	定期預金利子 恵寿会堂資料印刷代 サイドワック代他
經常収入合計		35,008,000	33,470,232		
5.その他の事業繰入金収入	繰入金収入	1,600,000	2,540,916	158.8%	その他の事業会計より一般会計に繰り入れ
6.保証金戻り収入	保証金戻り収入	1,600,000	1,515,600	158.8%	旧事務所より保証金戻り
その他資金収入合計		1,600,000	4,056,516	253.5%	
当期収入合計		36,608,000	37,526,748	102.5%	
前期繰越収支差額		23,905,224	25,523,224		
合 計		60,513,224	63,049,972	104.2%	

支出の部 1

2008年度(平成20年度)決算 特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

大科目	中科目	予算	決算	%	備考
1. 事業費 (1) 腎臓病に関する知識の普及と予防等を促進する事業	移植キャンペーン事業 都民の集い事業 機関誌発行事業 ホームページ管理事業 知識の普及事業	8,360,000 295,000 520,000 5,383,000 650,000 1,512,000	7,362,507 330,535 507,583 4,956,660 613,416 954,313	88.1% 112.0% 97.6% 92.1% 94.4% 63.1%	事務局員給与1名分含 保健管理諸費用 理事会各委員会活動、ボランティア活動、青年部活動
(2) 腎臓病患者の自立を支援するための相談	自立支援事業	1,592,000 1,592,000	1,588,670 1,588,670	99.8% 99.8%	事務局員給与1名分含、社会保険料等購入
(3) 腎臓病患者の医療体制の充実と福祉の向上を図る事業		43,000	50,380	117.2%	
(4) 関連する他団体との協同事業	都庁予算要請事業 都議会ヒアリング事業	26,000 17,000	36,360 14,020	139.8% 82.5%	都庁関係費 都議会関係費
(5) 福祉移送相談・推進事業	国会請願事業 全腎協他に協力する事業	11,634,000 960,000 10,674,000	10,878,451 737,806 10,140,645	93.5% 76.9% 95.0%	腎金納付金 全腎協会費、東海連会費、全腎協関連活動
(6) 腎臓病患者の食事療法に資する事業	福祉移送事業	0	0	0%	
(7) 腎臓病患者の災害対策事業	低たんぱく米の広報事業 小学校食育指導事業	134,000 130,000 4,000	121,340 121,340 0	90.6% 93.3% 0.0%	災害手帳・会員証、ビニールカバー
事業費合計	災害・緊急手帳作成事業 災害対策訓練事業	703,000 700,000 3,000	895,900 895,900 0	127.4% 128.0% 0.0%	
		22,466,000	20,897,248	93.0%	

2008年度(平成20年度)決算 特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

支出の部2

大科目	中科目	予算	決算	%	備考
2. 管理費	料 手 当 給 保 料 保 務 局 家 料 事 務 備 品 賃 什 器 費 消 耗 品 費 通 信 運 搬 費 印 刷 副 費 通 信 費 総 会 議 費 交 渉 費 租 税 務 課 事 務 用 消 耗 品 費 慶 弔 交 渉 費 事 務 所 移 転 費	4,890,000 600,000 3,297,000 600,000 300,000 110,000 1,140,000 370,000 1,100,000 350,000 365,000 5,000 200,000 80,000 31,000 2,075,000	4,890,000 712,802 2,675,295 571,520 278,392 115,679 1,162,516 451,199 1,102,080 194,400 353,520 0 344,780 236,537 51,500 2,132,738	100.0% 118.8% 81.1% 95.3% 92.8% 105.2% 102.0% 121.9% 100.2% 55.5% 96.9% 0.0% 172.4% 295.7% 166.1% 102.8%	事務局長2名分 社会・雇用保険事業主負担分、その他団体傷害保険 事務所移転 パソコン・印刷機・コピー機リース代 電気水道費 事務局お茶代、ごみ処理券、ワゴン交換、洗剤他 電話器リース代、メール便代、切手代、振込料 コピー機使用料、印刷用紙代 議案集費、会場費他 理事会費他 臨時アルバイト代他 事務用品費
管理費合計		15,513,000	15,272,958	98.5%	新事務所契約時
3. 保証金等支出	敷 金 支 出 保 証 金 支 出		900,000 315,000 585,000		
4. 退職給与積立預金繰入額	退職預金積立金支出	250,000	250,000		
5. その他の事業へ繰出し金	繰 出 し 金 支 出	250,000	1,000,000 1,000,000		その他の事業用口座開設資金
その他資金支出合計		250,000	2,150,000		
当期支出合計		38,320,000	38,320,206	100.2%	
当期収支差額		-1,618,000	-793,458		
次期繰越収支差額		23,905,224	24,729,766	103.4%	

正味財産増減計算書

平成 20年4月1日から平成 21年3月31日まで

一般会計

(単位:円)

科 目	金 額	
【増加の部】		
資産増加額		
その他資産増加額	900,000	
退職給与積立預金増加額	250,000	1,150,000
負債減少額		
増加額合計		1,150,000
【減少の部】		
資産減少額		
当期収支差額	793,458	
什器備品減価償却額	24,780	
権利金償却額	47,250	
その他資産減少額	1,515,600	2,381,088
負債増加額		
退職給与引当金繰入額	250,000	250,000
減少額合計		2,631,088
当期正味財産減少額		1,481,088
前期繰越正味財産額		27,128,999
期末正味財産合計額		25,647,911

20年度その他の事業会計 貸借対照表

平成21年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	金 額	金 額
【資産の部】			
流動資産			
現金預金	2,540,916		
流動資産合計		2,540,916	
資産合計			2,540,916
【負債の部】			
流動負債			
未払金	2,540,916		
流動負債合計		2,540,916	
負債合計			2,540,916
【正味財産の部】			
正味財産			0
(うち当期正味財産増加額)			0
負債及び正味財産合計			2,540,916

20年度その他の事業会計 収支計算書

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

(内-営業計)

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	備考
【経常収入の部】			【経常収入】
広告料収入	2,040,000	1,997,880	名刺広告、折り込み広告
その他の収入		1,384	金 庫
受取利息		1,384	その他の事業口座利息
経常収入合計	2,040,000	1,999,264	経常収入
【経常支出の部】			【経常支出】
事業費	440,000	456,668	経費削減
機関誌「東腎協」の発行	440,000	456,668	広告ページ印刷費
管理費		1,680	金庫使用料
通信運搬費		1,680	振込料 謝金
経常支出合計	440,000	458,348	【経常支出合計】
経常収支差額	1,600,000	1,540,916	経常収支
【その他資金収入の部】			【その他資金収入】
一般会計より繰入金収入		1,000,000	新規口座開設資金
繰入金収入		1,000,000	
その他資金収入合計	0	1,000,000	
【その他資金支出の部】			【その他資金支出】
一般会計へ繰出し金	1,600,000	2,540,916	2,540,916
繰入金支出	1,600,000	2,540,916	1,451,088
その他資金支出合計	1,600,000	2,540,916	27,128,998
当期収支差額	0	0	25,647,911
前期繰越収支差額	0	0	
次期繰越収支差額	0	0	

正味財産増減計算書総括表

平成 20年4月1日から平成 21年3月31日まで

(単位:円)

科 目	合 計	一般会計	その他の事業会計
【増加の部】			【増の部】
資産増加額	1,150,000	1,150,000	人財資金 0
負債減少額	0	0	人財資金 0
増加額合計	1,150,000	1,150,000	人財資金 0
【減少の部】			【減の部】
資産減少額	2,381,088	2,381,088	人財資金 0
負債増加額	250,000	250,000	人財資金 0
減少額合計	2,631,088	2,631,088	【減の出支費】 0
当期正味財産増加額	1,481,088	1,481,088	0
前期繰越正味財産額	27,128,999	27,128,999	0
期末正味財産合計額	25,647,911	25,647,911	0

収 支 計 算 書 総 括 表

平成 20年4月1日から平成 21年3月31日まで

(単位:円)

科 目	合 計	一般会計	その他の事業会計
【経常収入の部】			
会費収入	29,302,900	29,302,900	0
事業収入	735,413	735,413	0
寄付金収入	3,175,192	3,175,192	0
その他の収入	258,111	256,727	1,384
広告料収入	1,997,880	0	1,997,880
経常収入合計	35,469,496	33,470,232	1,999,264
【経常支出の部】			
事業費	21,353,916	20,897,248	456,668
管理費	15,274,638	15,272,958	1,680
経常支出合計	36,628,554	36,170,206	458,348
経常収支差額	-1,159,058	-2,699,974	1,540,916
【その他資金収入の部】			
保証金戻り収入	1,515,600	1,515,600	0
一般会計より繰入金収入	1,000,000	0	1,000,000
その他の事業会計より繰入金	2,540,916	2,540,916	0
その他資金収入合計	5,056,516	4,056,516	1,000,000
【その他資金支出の部】			
保証金等支出	900,000	900,000	0
退職給与積立預金繰入額	250,000	250,000	0
その他の事業へ繰出金	1,000,000	1,000,000	0
一般会計へ繰出し金	2,540,916	0	2,540,916
その他資金支出合計	4,690,916	2,150,000	2,540,916
当期収支差額	-793,458	-793,458	0
前期繰越収支差額	25,523,224	25,523,224	0
次期繰越収支差額	24,729,766	24,729,766	0

監査報告書

特定非営利活動法人
東京腎臓病協議会
会長 榎原 靖夫 様

私達は、特定非営利活動促進法第18条の規定に基づき、2008年度(2008年4月1日から2009年3月31日)の事業報告書及び計算書類(財産目録、貸借対照表、収支計算書及び正味財産増減計算書)について監査を行いました。

監査の方法は、理事会等の議事録その他の重要書類の閲覧をするほか理事から事業の報告を聴取し、また財産の状況については、帳簿及び証拠書類の閲覧、照合、質問等の合理的な保証を得るための手続きを行いました。

監査の結果、法人の業務は法令、定款及び2008年度の活動方針、事業計画に基づき適正に処理され、2008年度の特定非営利活動法人東京腎臓病協議会の財産の状況は適正なものと認められます。

平成21年4月18日

特定非営利活動法人 東京腎臓病協議会

監事 森 義昭



監事 篠原 栄一



21年度事業計画書

21年 4月 1日から 22年 3月 31日まで

【経常収入の部】

全費収入

特定非営利活動法人 東京腎臓病協議会

1 事業実施の方針

広く一般市民に対し、腎臓病に関する正しい知識普及と予防を図るための事業、及び腎臓病患者の医療体制の充実と福祉向上を図るための政策提言等の事業を行ない、もって市民の健康ならびに福祉向上に寄与することを目的とする。

2 事業の実施に関する事項

(1)

事業名	事業内容	実施 予定 日 時	実施 予定 場 所	従事者 の予定 人 数	受益対象者 の範囲及び 予定人数	支出見 込み額 (千円)
腎臓病に関する知識の普及と予防等を促進する事業	「臓器移植キャンペーン」臓器提供意思表示カード配布	10月	中央区銀座 台東区上野	100人	一般市民 10,000人	300
	「腎臓病を考える都民の集い」を開催し広く一般市民に腎臓病の早期発見早期治療を啓蒙する	3月	都内または 多摩地区	20人	一般市民 300人	520
	機関誌「東腎協」の発行	年4回	事務局	5人	一般市民 7,000人	5,386
	ホームページの維持管理を行い、活動内容を紹介し、腎臓病の意識啓発を図る	通 年	事務局	5人	一般市民 不特定多数	922
	広く一般市民に腎臓病に関する正しい知識の普及と予防を促進するため、対話のできる学習交流会を開催する	年10回	都 内	10人	一般市民 300人	1,672
腎臓病患者の自立を支援するための相談事業	広く一般市民の腎臓病に関する医療・社会保障制度の相談業務	通 年	事務局	10人	一般市民 不特定多数	2,160
腎臓病患者の医療体制の充実と福祉の向上を図る事業	「都庁予算要請懇談会」都庁各局職員との懇談会	7月	都庁会議室	10人	一般市民 不特定多数	40
	「都議会ヒアリング」都議会議員との懇談	9月	都議会議員会 館会議室	10人	一般市民 不特定多数	20
関連する他団体との協同事業	「国会請願」全腎協と腎疾患対策の早期確立をめざす	3月	衆議院・参議 院議員会館	10人	一般市民 不特定多数	400

関連する他団体との協同事業	全腎協、東難連に協力及び協力をし、不特定多数の一般市民に腎臓病について広く啓蒙活動を行う	随時	都内	5人	一般市民 不特定多数	9,700
福祉移送相談・推進事業	NPOを取得し、通院移送を行なおうとする団体の相談及び全腎協助成金申請の推薦	随時	事務局	1人	通院移送を行うNPO法人	0
腎臓病患者の食事療法に資する事業	低たんぱく米の広報・韓旋、災害時備蓄米韓旋	随時	事務局	3人	一般市民 不特定多数	10
	NPO米ニケーションと協力し、小学校社会科の授業の環境である「低たんぱく米」収穫までの補助及び教員とともに食育指導を行う	年2回	都内	3人	都内小学校生徒及び教員	5
腎臓病患者の災害対策事業	東京都を中心とした東京都他多方面の自治体と協力をして災害対策訓練実施に参加する	随時	都内	10人	一般市民 不特定多数	40

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施 予日 時	実施 予場 所	従事者の 予定 人数	支出見 込み額 (千円)
広告掲載事業	機関誌広告掲載	年4回	事務局	5人	450

2009年度(平成 21年度)予算 特定非営利活動に係る事業会計予算(案)

収入の部

2009年4月1日～2010年3月31日 (単位:円)

大科目	中科目	20年度予算	20年度決算	21年度予算	備考
1.会費収入	会費収入	30,800,000	29,302,900	28,870,000	5,300人
	賛助会費収入	30,780,000	29,287,900	28,620,000	
		20,000	15,000	250,000	
2.事業収入	提携手数料収入	40,000	735,413	680,000	エコ・ライズ様注文手数料
	都民の集い協賛金収入	40,000	35,413	30,000	日本腎臓財団様、メグスター様、他協賛各社様
3.寄付金収入	寄付金収入	3,970,000	3,175,192	2,000,000	共榮薬品様他
	募金収入	1,570,000	1,004,823	500,000	国会清願募金
		2,400,000	2,170,369	1,500,000	
4.その他の収入	受取利息収入	198,000	256,727	150,000	普通・定期預金利子
	資料印刷代収入	21,000	31,157	10,000	患者会等資料印刷代
	物品販売収入	87,000	83,360	80,000	
		90,000	142,210	60,000	ガバフック代他
経常収入合計		35,008,000	33,470,232	31,700,000	
5.その他の事業から繰入金収入	繰入金収入	1,600,000	2,540,916	1,720,000	その他の事業(広告事業)より繰入金
6.保証金戻り収入	保証金戻り収入	1,600,000	2,540,916	1,720,000	
			1,515,600		
			1,515,600		
その他資金収入合計		1,600,000	4,056,516	1,720,000	
収入合計		36,608,000	37,526,748	33,420,000	
前期繰越収支差額		18,608,953	25,523,224	23,679,779	予算の23,679,779(11月末までの予想繰越金)
合 計		55,216,953	63,049,972	57,099,779	

支出の部 1		2009年度(平成21年度)予算	20年度決算	21年度予算	備考
大科目	中科目	20年度予算	20年度決算	21年度予算	
1. 事業費					
(1) 腎臓病に関する知識の普及と予防等を促進する事業		8,360,000	7,362,507	8,800,000	
	移植キヤンペーン事業	295,000	330,535	300,000	
	都民の集い事業	520,000	507,583	520,000	
	機関誌発行事業	5,383,000	4,956,660	5,386,000	事務局員給与1名分含
	ホームページ管理事業	650,000	613,416	922,000	HP管理諸費用、パソコン周辺保守料金、
	知識の普及事業	1,512,000	954,313	1,672,000	ブロッグ、青年部活動、患者会・施設訪問
(2) 腎臓病患者の自立を支援するための相談事業		1,592,000	1,588,670	2,160,000	
	自立支援事業	1,592,000	1,588,670	2,160,000	相談事業担当人件費、事務局員給与1名分含
(3) 腎臓病患者の医療体制の充実と福祉の向上を図る事業		43,000	50,380	60,000	
	都庁予算要請事業	26,000	36,360	40,000	都庁関係費
	都議会ヒアリング事業	17,000	14,020	20,000	都議会関係費
(4) 関連する他団体との協同事業		11,634,000	10,878,451	10,100,000	
	国会請願事業	960,000	737,806	400,000	募金納付金
	全腎協他に協力する事業	10,674,000	10,140,645	9,700,000	全腎協会費、東郷連会費、その他団体活動費
(5) 福祉移送相談・推進事業		0	0	0	
	福祉移送事業	0	0	0	
(6) 腎臓病患者の食事療法に資する事業		134,000	121,340	15,000	
	低たんぱく米の広報事業	130,000	121,340	10,000	エコライズ新米との提携・連絡
	小学校食育指導事業	4,000	0	5,000	
(7) 腎臓病患者の災害対策事業		703,000	895,900	40,000	
	災害・緊急手帳作成事業	700,000	895,900	0	
	災害対策訓練事業	3,000	0	40,000	講習会等参加費
事業費合計		22,466,000	20,897,248	21,175,000	

支出の部2

2009年度(平成 21年度)予算 特定非営利活動に係る事業会計予算(案)

大科目	中科目	20年度予算	20年度決算	21年度予算	備考
2. 管理費	給料 法定福利費 保険料 事務用品 什器備品 光熱費 消耗品 通信運搬費 印刷費 印総会議費 会費 租税務局運管課費 事務用消耗品費 事務用交際費 事務所移転費	4,890,000 600,000 3,297,000 600,000 300,000 110,000 1,140,000 370,000 1,100,000 350,000 365,000 5,000 200,000 80,000 31,000 2,075,000	4,890,000 712,802 2,675,295 571,520 278,392 115,679 1,162,516 451,199 1,102,080 194,400 353,520 0 344,780 236,537 51,500 2,132,738	4,770,000 635,000 1,902,600 454,000 300,000 100,000 1,140,000 440,000 1,100,000 210,000 344,000 5,000 310,000 80,000 31,500 0	2名分 社会・雇用保険事業主負担分 団体傷害保険料 158,550/月 (19年度 4,137,588) パソコン・印刷機・コピー機リース代 事務局お茶代、ごみ券、フロッピー交換他 電話器リース代、メール便代、切手代、振込料他 コピー機使用料、印刷用紙代 読家集費、会費費 理事会費、三役会他 通勤交通費 臨時アルバイト代、図書費 名刺、事務用品 20年度で終了
管理費合計		15,513,000	15,272,958	11,887,100	
3 保証金等支出	敷保証金支出		900,000	0	0
4 退職給付積立預金繰入額	退職預金積立金支出	250,000	250,000	250,000	0
5 その他の事業へ繰出し金	繰出し金支出	250,000	1,000,000	0	0
その他資金支出合計		250,000	2,150,000	250,000	
支出合計		38,229,000	38,320,206	33,312,100	
収支差額		-1,621,000	-793,458	107,900	
前期繰越収支差額		16,987,953	25,523,224	23,679,779	予算の23,679,779は1月末までの予想繰越金
次期繰越収支差額		15,366,953	24,729,766	23,787,679	

21年度 その他の事業会計 収支予算(案)

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

(単位:円)

科 目	20年度決算額	21年度予算額	備考
【経常収入の部】			
広 告 料 収 入	1,997,880	2,171,000	紙面広告、折込広告
そ の 他 の 収 入	1,384	1,000	その他の事業口座利息
受取利息	1,384	1,000	
経常収入合計	1,999,264	2,172,000	
【経常支出の部】			
事 業 費	456,668	450,000	
機関誌「東腎協」の発行	456,668	450,000	広告ページ印刷費
管 理 費	1,680	2,000	
通信運搬費	1,680	2,000	振り込み料
経常支出合計	458,348	452,000	
経常収支差額	1,540,916	1,720,000	一般会計へ繰入れ
【その他資金収入の部】			
一般会計より繰入金収入	1,000,000	1,000,000	
繰入金収入	1,000,000	1,000,000	一般会計より繰入
その他資金収入合計	1,000,000	1,000,000	
【その他資金支出の部】			
一般会計へ繰出し金	2,540,916	2,720,000	
繰入金支出	2,540,916	2,720,000	
その他資金支出合計	2,540,916	2,720,000	
当期収支差額	0	0	
前期繰越収支差額	0	0	
次期繰越収支差額	0	0	

2009年度NPO東腎協執行部(案)

No.	役職名	氏 名	患 者 会 名
1	会 長	木下 久吉	笹塚愛生クリニック患者友の会
2	副会長	戸倉 振一	森山友の会 (全腎協社員代表)
3	副会長	小野 誠	吉祥寺あさひ腎友会
4	副会長	須賀 春美	虎の門友の会(本院)
5	事務局長	小関 盛通	柳原健腎会
6	会 計	軽部 和之	立川相互病院透析室希望会
7	理 事	石井 虎二	瑞江腎友会
8	理 事	石山久美子	ダイヤモンド会
9	理 事	糸 修	すながわ診療所患者会いづみ
10	理 事	梅原 秀孝	府中けやき会
11	理 事	押山 大作	にこたま会
12	理 事	金井 信憲	新江東橋クリニック腎友会
13	理 事	岸里 悟	森山友の会
14	理 事	木村 妙子	上野しのばず会
15	理 事	久保 正業	松和患者会新宿南口支部
16	理 事	小泉 剛	新橋青木クリニック腎友会
17	理 事	斎藤 稔	あけぼの友の会
18	理 事	榊原 靖夫	高中腎友会
19	理 事	新見 範彦	新小岩クリニック友の会(船堀)
20	理 事	田中 助成	聖路加二ーレ会
21	理 事	中村 博	新葛飾ロイヤルクリニック友の会
22	理 事	古木 直之	鶴田クリニック友の会
23	理 事	吉澤 正雄	新橋青木クリニック腎友会
24	理 事	吉田 芳子	南大沢パオレ腎友会
25	理 事	山口 登	吉祥寺あさひ腎友会
26	監 事	篠原 栄一	中野クリニック腎友会
27	監 事	森 義昭	虎の門友の会(本院)
28	相談役	一ノ清 明	虎の門友の会(分院)
29	相談役	糸賀 久夫	松和患者会新宿南口支部
30	オブザーバー	石田 健郎	織本病院腎友会
31	オブザーバー	藤田 吉彦	小池会
32	オブザーバー	横山 邦子	貴友会王子病院友の会

退任理事・オブザーバー

No.	役職名	氏 名	患者会名
1	理 事	澤田 載子	代々木病院友の会
2	理 事	田河内 乙	にこたま会
3	理 事	菊地 貞夫	優人クリニック患者会
4	理 事	蛭田 範博	新小岩クリニック友の会
5	オブザーバー	池谷 匠	めじろ会
6	オブザーバー	海野 尚志	立花クリニック友の会

2009年度正会員名簿

No.	役職名	氏 名	患者会名
1	正会員	安藤 巴	愛和腎友会
2	正会員	高橋 初子	青葉病院腎友会
3	正会員	島貫 克利	赤羽中央病院腎センター腎友会
4	正会員	小川 典之	昭島腎クリニックひまわり会
5	正会員	金井 仁	秋葉原腎クリニック腎友会
6	正会員	及川 一俊	あけぼの友の会
7	正会員	若杉 政雄	あけぼの友の会
8	正会員	武田 文雄	あけぼのクリニック友の会
9	正会員	上垣 保朗	阿佐谷すずき腎友会
10	正会員	西村 竹俊	小豆沢病院透析友の会
11	正会員	渡辺 峰男	井口腎友会(足立区竹ノ塚)
12	正会員	戸嶋美知夫	井口腎友会(足立区竹ノ塚)
13	正会員	山岡 乙人	板中腎友会
14	正会員	斉藤 真一	稲城市立病院腎友会
15	正会員	吉田 滋彦	井の頭クリニック腎友会
16	正会員	杉浦 健祐	入谷クリニック腎友会
17	正会員	吉岡 ひろみ	上野しのばず会
18	正会員	大嶋 仁司	大島腎友会
19	正会員	蒲原 栄子	大森東クリニック腎友会
20	正会員	佐藤 歳夫	御徒町腎クリニック友の会
21	正会員	矢浪 流	小笠原クリニック友の会
22	正会員	石田 健郎	織本病院腎友会
23	正会員	友田 恵三	菊川橋クリニック腎友会
24	正会員	平川 廣	嬉泉病院二一レ友の会
25	正会員	服部 みや子	吉祥寺あさひ腎友会
26	正会員	渋谷 重雄	境南クリニック患者会
27	正会員	横山 邦子	貴友会王子病院腎友会
28	正会員	伊藤 保雄	杏林腎友会
29	正会員	廣瀬 憩子	くにたち桜会
30	正会員	貫井 初枝	ダイヤモンド会
31	正会員	高橋 国一	桑の実会
32	正会員	望月 泰明	小池会
33	正会員	秋山 充	新江東橋腎友会
34	正会員	藤山 久光	国分寺南口クリニック観光会
35	正会員	本木 和明	幸町腎クリニック腎友会
36	正会員	相馬 久仁子	笹塚堂生クリニック友の会
37	正会員	細野 春江	三軒茶屋病院腎友会
38	正会員	菊地 典子	三軒茶屋病院腎友会
39	正会員	矢嶋 孝之	三和クリニック
40	正会員	神保 和雄	十条腎和会
41	正会員	福田 龍美	松和患者会新宿南口支部
42	正会員	田中 克人	松和患者会西新宿支部
43	正会員	黒川 英彦	松和患者会かレア支部
44	正会員	鎌守 和徳	松和患者会かレア支部

45	正会員	塚田 一彦	新小岩クリニック友の会(本院)
46	正会員	大畑 ハナ	新小岩クリニック友の会(船堀)
47	正会員	荘司 由利	親水クリニック友の会
48	正会員	清水 国衛	新宿西口腎クリニック腎友会
49	正会員	佐藤 あき子	新橋青木クリニック腎友会
50	正会員	北見 潔	腎研友の会
51	正会員	高山 衛士	NPO法人 すずらの会
52	正会員	中山 君子	すながわ相互診療所患者会いずみ
53	正会員	小林 スイ子	清湘会記念病院腎友会
54	正会員	一條 恵子	聖蹟さくら会
55	正会員	田中 新一	聖路加ニーレ会
56	正会員	柳澤 政義	成和腎クリニック友の会
57	正会員	中島 信夫	高尾もみじ会
58	正会員	藤井 宏祐	高中腎友会
59	正会員	隅田 一巳	高松病院患者会
60	正会員	北村 澄子	竹口病院腎友会
61	正会員	中村 文子	立川北口駅前腎友会
62	正会員	徳永 功	立川相互病院透析室希望会
63	正会員	河内 亜登務	立花クリニック友の会
64	正会員	中村 正彦	調布病院腎友会
65	正会員	渡邊 靖	調布東山病院腎友会
66	正会員	下島 正資	鶴田クリニック友の会
67	正会員	猪狩 奈美枝	帝京大学病院腎友会
68	正会員	寺田 光男	寺田病院腎友会
69	正会員	永田 寛	東海病院ひまわり会
70	正会員	稲垣 正	東海病院ひまわり会
71	正会員	池田 典幸	東京綾瀬腎クリニック腎友会
72	正会員	会沢 常謙	東京共済病院腎友会
73	正会員	平出 米市	東京健生病院サポテン会
74	正会員	岩崎 誠	東和病院腎友会
75	正会員	上條 良友	虎の門友の会
76	正会員	大場 光伴	虎の門会分院
77	正会員	村井 靖治	中野クリニック腎友会
78	正会員	下山田 守	長久保病院腎友会
79	正会員	降旗 雄二	永山腎友会
80	正会員	長井 久美子	にこたま会
81	正会員	小野崎 勝	練馬・桜台クリニック患者会
82	正会員	内藤 富一	ノリ・メディカルクリニック腎友会
83	正会員	遠藤 洋一	羽村相互診療所たんぽぽの会
84	正会員	清水 泰一	東高円寺フェニックス会
85	正会員	小川 正人	聖橋クリニック腎友会
86	正会員	林 勝則	聖橋クリニック腎友会
87	正会員	宮城 文江	深川橋クリニック腎友会
88	正会員	大山 きみ	府中けやき会
89	正会員	前田 雅也	豊生会
90	正会員	矢沢 輝之	望星田無クリニック友の会
91	正会員	片平 喜代子	町田慶泉病院腎友会
92	正会員	多田 可子	瑞江腎クリニック腎友会

93	正会員	瀬賀 康平	三鷹腎クリニック腎友会
94	正会員	野崎 順子	南大沢バオレ腎友会
95	正会員	大野 幸子	南千住病院河童会
96	正会員	中島 哲夫	南多摩病院のぼら会
97	正会員	小堀 明	南多摩病院のぼら会
98	正会員	志田 幸子	武蔵境駅前クリニック腎友会
99	正会員	堀 豊	村上医院ひまわり会
100	正会員	池谷 匠	西澤クリニックめじろ会
101	正会員	宗像 聡之	森山病院友の会
102	正会員	浦辺 是諒	谷中三和クリニック腎友会
103	正会員	田口 一郎	柳原健腎会
104	正会員	北爪 勇	湯島腎友会
105	正会員	池崎 一彦	山田クリニック腎友会
106	正会員	麓 卓治	優人クリニック患者会
107	正会員	小山 久子	代々木病院腎友会
108	正会員	桃田 敦重	代々木病院腎友会(中野共立診療所)
109	正会員	菅原 八重	代々木病院腎友会(桃井診療所)
110	正会員	岩男 幸尚	東久留米クリニック(岩男グループ)
111	正会員	石川 美智子	青梅市立総合病院グループ
112	正会員	酒詰 孝子	金町中央病院グループ
113	正会員	久保田由美子	東葛クリニック小岩グループ
114	正会員	嶋田 孝司	東村山診療所グループ
115	正会員	北川有利子	豊田クリニック患者会
116	正会員	柿沼 敬子	日野クリニック(柿沼グループ)
117	正会員	池野茂久太	個人会員
118	正会員	永井 聡	個人会員
119	正会員	松沢 博	個人会員
120	正会員	深瀬 祥子	個人会員
121	正会員	古田 博重	個人会員
122	正会員	山田 章	個人会員

正会員のいない腎友会	大山腎友会
	北病院腎友会
	西クリニックひまわりの会
休会	あすなろ会

